

年報

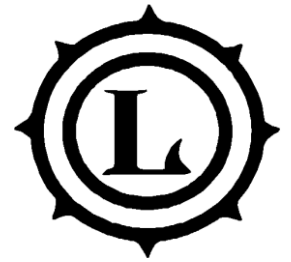
社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫

〒538-0042 大阪市鶴見区今津中 2-4-37

TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

<http://www.lighthouse.or.jp/>



平成25年度 事業報告 (2013年度)

◎概 括

平成25年度は、(1)社会の公器であることを自覚し、公正・健全・透明な事業活動の推進、(2)信頼され、信任を得るサービスの充実、(3)誠実で包容力のある温かいサービスの提供、(4)時代や環境の変化に対応した組織づくりの四つの基本理念を柱に据え、事業を展開しました。

国連・障害者権利条約の批准に合わせて「障害者虐待防止・権利擁護に関する委員会」を再編、「職員倫理綱領」を策定し、各事業所における「行動規範」の策定に取りかかりました。

リハビリテーション部門では、事業全体を再編し、新たに施設入所支援をとまなう生活介護のサービスを開始しました。介護支援度の高い方々も含めて、一人ひとりのニーズに合ったプログラムを提供することや放出席から施設までの送迎を実施するなど、サービスの一層の向上に努めました。新たなサービスの定着により収入の安定化をめざしています。

情報文化センターでは、引き続き、「学び、働き、暮らし、楽しむ」ことに繋がる情報を点字・録音・電子書籍等の多媒体で製作提供し、併せて情報活用に必須の情報通信技術とインターネット、視覚補助具の利用支援を推進し、地の利を活かした文化・コミュニケーション活動の場を提供しました。簡単に録音図書を読むことができる「テキストデイジー」の普及に努めたほか、「情報バリアフリー推進事業」に着手し、公共団体や企業に対

して点字・録音・電子書籍・音声解説等の公的保障の充実を訴えました。新たに文部科学省の委託を受け、障害のある児童・生徒のための「音訳教材」の普及推進事業に取り組みました。また、引き続き、高度な製版技術を駆使して、視覚支援学校教科用図書・点字印刷・点字プレートなどを安定的に供給したほか、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」サポートセンターの業務を引き続き受託しました。

◎法人事業の概要

—岩橋武夫賞の授与—

アジアにおける視覚障害者福祉・教育・失明防止等に貢献のあった人に対して授与される岩橋武夫賞の第36回(2013年)受賞者は、該当者がなく、次年に持ち越すこととしました。

—第21回ライトハウス祭り—

11月9日(土)、恒例のライトハウス祭りを鶴見事業所で開催、400名を超える地域の方々が参加され、交流を深めました。

—チャリティ事業—

第31回チャリティコンサートは、例年どおり大阪城東ロータリークラブの協賛により、4月20日(日)、ヴァイオリンの和波孝禧氏を迎え、澤和樹氏の指揮、千里フィルハーモニア大阪の演奏により、ザ・シンフォニーホールにおいて開催し、1,142名の方々が来場されました。当日の会場募金およびチケット売上げによる収益の一部は、盲導犬育成支援に充当いたしました。

—研修・交流・広報事業ほか—

・6月30日～7月3日、情報文化センターの職員3名を姉妹施設提携の韓国・シロアム福祉会に研修派遣しました。3月17日～20日には、シロアム福祉会から3名が訪日し、施設等を見学されました。

・法人の後援会である灯友会は、発足当初から会長として陣頭指揮されてきた桂知良氏が逝去され、新たに夫人の桂晴子氏が会長に就任されました。

・新聞や放送・出版関係、大学の調査研究や博物館の特別展示、企業の社史編纂などにも法人が所蔵している文献や写真などの資料を提供したほか、番組の取材も受けました。

・引き続き、日本盲人福祉委員会、日本盲人社会福祉施設協議会等の関係団体の役員として法人職員が就任し、協力を行いました。

・引き続き、大阪市・大阪府の公立小学校を中心に、幼稚園から高等学校までの要請に基づいて講師を派遣し、盲導犬啓発活動を行いました。また、企業や公共交通機関等の社員研修で手引きの方法等の実習を担当したほか、視覚障害関係機関からの要請に応じ、ガイドヘルパー養成研修等に講師を派遣しました。

・例年どおり、職員人権啓発研修会を2回実施したほか、職員全体会、役職者の業務研修等を行いました。

◀募金事業に関しては、別冊の

『FORWARD』をご覧ください▶

◎新たなサービスの開始

障害者支援施設日本ライトハウスきらきらでは、利用のなかった自立訓練(生活訓練)に代わるサービスとして、新たに視覚障害と知的障害や精神障害を併せもつ方を対象に施設入所支援をともなう生活介護を8月から開始しました。2月には定員6名が充足、定員8名への変更を届け出ました。平成26年度末には、14名に増員することをめざし、職員一丸となって一層のサービスの向上に取り組んでいます。

◎寄贈・助成による設備・機器整備

社会福祉法人清水基金と赤い羽根共同募金・NHK歳末たすけあいのご助成により、老朽化していた障害福祉サービス事業所日本ライトハウスわくわくの送迎用車輛を各1台更新し、最寄り駅から事業所までの送迎サービスを継続することができました。

また、気鋭のヴァイオリニスト・川島成道氏のご助成により、最新の訓練用機器6台を整備しました。前年度に引き続き、立川福祉基金のご助成により、施設入所支援のナースコールシステムを整備、また、イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」により、新たに開始した生活介護サービス用の器具什器を配備することができました。ほか、多くのご助成を受けて事業を進められたことに対して、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

また、大阪市鶴見区との間で災害時の福祉避難所開設に関する協定を締結、備蓄品を受領しました。今後、受入れのための訓練を実施し、必要な備品を配備することとしました。

1. 日本ライトハウスきらきら

日中活動サービスの内訳は、生活介護(6名:登録6名)、自立訓練(機能訓練)(20名:登録63名)、就労移行支援(6名:登録10名)、施設入所支援(30名:登録

25名)でした。進路の内訳は、復職・就職6名、職業訓練校進学13名、わくわく利用9名、家庭復帰4名、他施設・事業所4名、その他2名でした。

きらきらの修了後、居宅支援サービスや行政機関等との連携を深め、安定した居宅生活を開始できるよう、幅広い支援を行いました。

2. 日本ライトハウスわくわく

引き続き、障害者自立支援法に基づく事業所として、創作活動・生産活動・各種技術訓練(歩行・点字・情報機器・日常)、スポーツ・レクリエーション活動を四つの柱とする期限の定めのない生活介護サービスを提供しました。年度当初の登録は105名、きらきら修了者の受入れ等により8名が増加、修了者は5名で、年度末の登録者数は108名でした。

JR放出駅と施設との送迎サービスは、延べ3,811名の利用でした。

3. 職業訓練部

24名の在籍者に職業訓練プログラムを提供し、17名が修了・中退(就職4名、求職中10名、進路変更3名)しました。引き続き、就職した修了者の体験を聞く会を開催したほか、復職を希望するきらきらの就労移行支援利用者の支援、大阪市短期委託訓練等も実施しました。

4. 盲導犬訓練部

パピーウォーカー宅へ65頭の飼育委託を行いました。アジア各国の盲導犬協会との間で繁殖に関する協力を進めるなど、雄犬10頭、雌犬28頭の繁殖犬を確保しました。

(盲導犬貸与 22名 20頭)

5. 盲人ホーム(医療実技指導部門)

引き続き医療免許を所持する利用者への技術向上と総合的な資質向上に力を入れて取り組んでいます。(利用者4名、新規利用1名、修了1名、継続4名)

6. 居宅支援センターてくてく

障害者自立支援法の「居宅介護・重度

訪問介護」、「移動支援」、「同行援護」の各事業(利用登録延べ69名)、介護保険法の「居宅介護支援」、「訪問介護・介護予防訪問介護」の各事業(利用登録延べ18名)を実施しました。登録ヘルパー:57名。

7. 養成分部(指導者養成部門)

○厚生労働省委託 第43期視覚障害生活訓練等指導者養成課程

1年基礎Ⅰ 9名、1年基礎Ⅱ 2名

2年実習 6名、2年応用 5名

○日本眼科医会共催

医療関係者視障リハ研修会 8名

○文部科学省・全国盲学校長会後援

教育関係者視障リハ研修会 4名

○日本盲人社会福祉施設協議会后援

視障リハ基礎講習会(2回) 40名

○在宅訪問指導

堺市:288回、奈良県:98回

和歌山県:293回、宝塚市:99回

8. 相談室

電話相談:212件、来所相談:106件

9. その他事業

- ・ロービジョン(弱視)相談を継続し、弱視者用補助具や社会資源を紹介したほか、障害年金の説明などを行いました。
- ・修了された方々に『ライトハウス通信』を点字・大活字・メール版により2回発行しました。
- ・広報誌『ぴっかぴか(ピカ改題)』を3回発行し、地域の福祉・医療・各種相談支援団体等にお配りしました。
- ・登録ボランティアは、106名にのぼり、延べ573件の活動にご協力いただきました。感謝申し上げます。『ボランティアだより』を2回発行しました。
- ・学校関係や国内外の視覚障害関係機関等からの依頼により、引き続き研修生・実習生を多数受け入れたほか、専門講座や講習会等に職員を講師として派遣しました。

◎サービスの拡充をめざして

西事業所では、引き続き点字・デージー録音・マルチメディアデージーなど、多媒体での製作を行い、多様なニーズに応え、広範囲できめ細かなサービスを提供したほか、視覚障害者情報提供ネットワークシステム「サピエ」サポートセンターの業務を受託し、懇切なサポートに努めました。

また、パソコンがなくても簡単に録音図書を読むことができる「テキストデージー」の普及を促進したほか、東・西事業所が連携して「情報バリアフリー推進事業」に着手し、公共団体や企業に対して点字・録音・電子書籍・音声解説等の公的保障の拡大に取り組みました。

新たに、文部科学省の委託により障害のある児童・生徒のための「音訳教材」の普及推進事業を実施しました。

引き続き、東事業所を中心とした点字・デージー等出版事業の維持・発展に努めました。早川福祉会館点字図書室の運營業務受託は、最終年となり、デージー図書の一層の浸透を図りました。

1. 点字・録音図書の製作・受入

(単位：タイトル数)

種別	点字図書	録音図書
製作図書	263	202
委託配布図書	35	25
寄託・その他	216	401
購入図書	5	8
蔵書累計	9,585	14,643
(冊/巻数)	39,312	44,563

2. 図書館サービスの利用状況

(1) 図書館利用者数

大阪市：1,775名 大阪府：1,552名
他府県：1,249名 合計：4,576名

(2) サービス利用の状況

点字図書貸出 5,107冊
テープ図書貸出 5,430巻
デージー図書貸出 49,854枚
フロッピー図書貸出 8枚

対面リーディング 1,083件

(3) 全国施設間の相互貸借

	貸出数	借受数
点字図書	4,104冊	1,787冊
テープ	1,979巻	4,725巻
デージー	12,989枚	12,787枚

3. 機器・用具サービス

引き続き、用具・機器展示・販売、パソコン指導などを行ったほか、訪問利用支援サービスも実施しました。サービスフロア来室：4,971名、問合せ：2,520件、訪問支援：10件。

4. ネットワーク利用支援サービス

視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」のサービスを引き続き受託し、全国の個人会員や施設会員に対して、インターネットによる図書情報等の利用の普及に努めました。年度末登録数：個人会員12,476名、施設会員271団体。

5. 多多数複製点字製作提供事業

(1) 支援学校等向け点字教科用図書製作

視覚障害児童・生徒・学生向けの教材の点字データを製作し、小学部15点24巻、中学部9点33巻、高等部普通科35点254巻、理療科19点76巻の教科用図書を点字・拡大・デージー版で発行、安定的に供給しました。

(2) 厚生労働省委託図書貸出配布事業

点字製版	28タイトル	5,040冊
CD製作	6タイトル	432枚
デージー	21タイトル	1,365枚

(3) メディア製作センター事業

引き続き、国立国会図書館による「学術文献録音図書製作作業」、国立民族学博物館の月刊広報誌、官公庁や民間企業による委託製作を行いました。また、パソコン上で文字や画像と音声とを同期させ、さまざまな読み方をさせることのできるマルチメディアデージーを製作し、文字の認識や理解が困難な「読書障害」の方々への情報提供にも取り組みました。

(4) 各種委託製作他

大阪市・和歌山市等、自治体発行の点字版広報誌の製作を受託しました。また、行政・教育機関等からの依頼による点字印刷・点訳物・点字サイン(プレート類)等を製作・配布しました。

(5) 教材等個別製作

教育委員会や学校の依頼に応えた教材や試験の点訳・墨字訳を受託しました。小学校：9校37件、中学校：5校30件、大学：5校70件、自治体等：39団体67件。

6. 国際協力事業

広げよう愛の輪運動基金のダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業に引き続き協力し、とフィリピンとインドネシアの視覚障害青年の研修を行いました。

7. ボランティア・広報事業ほか

西事業所登録ボランティア：650名。

点訳等の講習会を開催したほか、各種講習会等にも講師を派遣しました。

毎月の施設見学会は、12回で37名、グループ・団体の個別見学では、27団体、463名の方が参加されました。

8. 各種情報の提供

視覚障害者情報誌『読書』を年11回、ボランティア向け情報誌『ONE BOOK ONE LIFE』を年11回、専門情報誌『対面リーディング通信』を年6回、『ろくおん通信』を年6回、『点訳通信』を年4回、それぞれ発行しました。

9. 早川福祉会館点字図書室

利用登録数：1,025名 ボランティア登録数：380名(音訳210名、点訳170名)

(1) 製作・貸出実績(単位：タイトル数)

種別	製作	貸出
デージー図書	126	40,029
テープ図書	96	6,992
点訳	131	1,727
点字打出し	—	1,959

(2) その他サービス実績

プライベートサービス	631件
対面読書サービス	155件